

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 景翠会	代表者	富田 春郎	法人・事業所の特徴	金沢動物園近くの閑静な住宅街に位置しており、安全な環境のもと、四季を感じて頂ける散歩外出や、月に一度のイベントを開催しています。長きに渡りこの地域で育んできた、金沢病院グループの医療・介護の経験を活かし「地域で暮らす方々が、その人らしく、ご自宅での生活が続けられるよう」柔軟なサービスで対応させていただきます。
事業所名	けいすい小規模多機能 さとやま	管理者	吉田 広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	3人	1人	2人	人	15人	人	23人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事故未然防止のため、引き続きケアプラン及び指示書確認の徹底を図るとともに、業務日誌及びミーティングでの意思統一を図る。	・ミーティング等で意思の統一を図るとともに、介護技術の事業所内研修も行い、スキルアップを図ることができた。	・自己評価を行うことで、年に一度は職員が自分を振り返る機会となる。	・各種評価、ミーティング等を活用し、個人及びチームとしての介護技術向上を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域回覧板及び掲示板を利用し、さとやま周知の継続を図る。 ・季節感を肌で感じられるに、事業所内の飾りつけに努める。	・季節のイベント、季節の飾りつけを実施し、季節感ある事業所を心掛けた。	・清潔で衛生的に保たれている。	・施設内の動線を安全に確保し、事故の未然防止を図る。
C. 事業所と地域のかかわり	・近隣ケアプラザ等の研修に積極的に参加し、顔見知りの関係を構築する。 ・2月に1度のサロンを継続し、開催時に介護相談を実施する。	・町内の集まりに参加し、地域とのかかわりを密にすることができた。	・近隣ケアプラザ等で開催される研修に参加することが出来た。	・複数の町内会に情報発信をする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・近隣の方に会った時は積極的にあいさつや声かけをし、気軽に話し会える関係作りをする。	・近隣の方と挨拶等をかわし良好な関係を維持する事ができた。	・気候がいい時は利用者様と散歩に出かけられるのは、非常にいいリハビリになると思う。	・近隣保育園との交流を継続する。 ・イベント等で外出の機会を持ち、社会との関わりを増やす。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議に管理者以外の職員が交代で参加する。	・運営推進会議に管理者以外の職員も参加し、地域に根付く施設であることを意識する事ができた。	・会議に参加し、施設の様子を伺い知ることができ、より身近に感じる事ができた。	・さとやまの良さを発信するとともに、地域からの情報・要望を得ることが出来るようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・年2回の防災訓練（春：夜間想定 秋：消防訓練）を継続する。 ・地域の防災訓練に職員が参加する。 ・地震想定型の防災訓練を実施。	・5/16、11/6に防災訓練を実施した。 ・災害時の避難要領、避難場所等の講習を受けた。	・防災訓練を通して、施設の造りや夜間の人員等の情報を知ることができた。	・年2回の防災訓練を継続する。 ・AEDの講習を実施する。